

事業所名：アゼリー保育園

令和6年度
福祉サービス第三者評価

評価結果報告書

評価機関(機構07-172)
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

令和6年12月6日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5F

評価機関名 合同会社 福祉経営情報サービス

認証評価機関番号

機構 07 - 17

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名	担当分野	修了者番号
	① 中村真代	福祉	H2201038
	② 川邊明美	福祉	H2001044
	③ 渡邊廣貴	経営	H0403033
	④		
	⑤		
	⑥		
福祉サービス種別	認可保育所		
評価対象事業所名称	アゼリー保育園		
事業所連絡先	〒	132-0021	
	所在地	東京都江戸川区中央1-8-21	
	Tel	03-3655-3355	
事業所代表者氏名	岸本美保		
契約日	2024年6月1日		
利用者調査票配付日(実施日)	2024年6月17日		
利用者調査結果報告日	2024年7月16日		
自己評価の調査票配付日	2024年6月17日		
自己評価結果報告日	2024年7月16日		
訪問調査日	2024年8月2日		
評価合議日	2024年8月5日		
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業評価: ・経営層記入事項について、課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り、現状の把握に努めた。 ・訪問調査ではサービス担当者による現場視察を午前中の時間に行い、サービス提供場面を極力把握する事に努めた。		

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

令和6年12月6日

事業者代表者氏名

園長 岸本美保

印

1/26



1 理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定) 1)利用者第一主義 2)地域社会への貢献 3)仕事を通しての自己実現
2 期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
(1)職員に求めている人材像や役割 ・常に相手の立場になって考え方行動する。 ・失敗を恐れずプラス思考でチャレンジする。 ・自分の強みを理解し、発揮する。 ・職員間でコミュニケーションを十分とり人間関係の調和がとれる。
(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感) ・プロ意識を持って保育をする。(保育の質の向上・保護者支援・子ども支援)

調査対象	保育園を現在利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数：186 世帯数：148
調査方法	・調査項目：東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告：自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。
利用者総数	186
利用者家族総数(世帯)	148
共通評価項目による調査対象者数	148
共通評価項目による調査の有効回答者数	96
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	64.9

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では「大変満足」が回答の44%、「満足」が45%、「どちらともいえない」が8%、「不満」が2%、「大変不満」が1%であり、回答者の89%が「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。

総合感想の自由記述では、お子さんが「毎日保育園に行きたいと言っている」「保育園のことを楽しそうに伝えてくれる」「保育園の活動を楽しんでいる」等、お子さんの姿から安心感や満足感を伝える回答が多くあった。また「子供の個性を活かして対応してくれている」「一人一人をよくみてくついて、その子の発達に合わせて保育してくださっている。」等、職員の対応への信頼感や安心感を示す回答が多く見られた。意見や要望としては、持ち物やイベントなどの情報提供・共有に関することや、カリキュラムにおける指導のあり方、保健・衛生面に関する内容、保護者のモラルに関する内容などが見られた。個別の設問では全設問で保護者からの自由回答が得られている。

なお、以下の利用者調査結果のコメント欄にある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	91	4	1	0
回答者の95%が「はい」を選択している。この設問の自由回答では「Steam保育・食育・英語・夕方カリキュラムなど家庭では行いきれない活動を行っていただいていると思っています。」といった回答のほか、「イベントや毎日学ぶこともたくさんある」「お友達と遊ぶこと。集団生活を行うことは、成長にとって重要だと思います。」等、多様な活動があり、大勢の子どもも同士が一緒に過ごすことがお子さんの成長に役立っている旨を伝える回答が多く見られた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	87	6	1	2
回答者の93%が「はい」を選択している。この設問の自由回答では「製作や大きな遊具など、家庭でなかなかできない活動が多く、子どもにとって楽しい活動になっている」「教育的であり、且つ楽しんで遊ぶだけで頭を使う内容もあり感心する」等の回答があった。また、「帰宅後にその日の活動を嬉しそうに話す」等の回答も少なくなかった。そのほかでは、子どもに合わせ「アプローチを変えて接してもらっているようです。」という回答や、「発達ゆっくりめな子にとっては、ついて行くのが難しい活動も多いと感じる」という回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	86	7	0	3
回答者の92%が「はい」を選択している。この設問では「家庭保育では偏りがちな栄養バランスを補えるのはありがたいです。」「いつも考えて提供してくださりありがとうございます。」などの回答があった。そのほか、離乳食から幼児食への切り替え時に「先生方がよくみててくれているなと思いました。」という回答、「家庭で園の食事をお子さんからリクエストされる」旨の回答などがあった。意見としてはおやつ提供の時間帯や、「野菜が多いのはありがたいが、もう少し子ども向けの献立に寄せててもよいかと思う」などがあった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	76	15	2	3
回答者の82%が「はい」を選択している。この設問では「公園や親水公園など積極的に散歩へ行ってくれている。」「よく公園に遊びに連れて行ってくださっているようです。」等、機会が確保されているという旨的回答のほか、「戸外遊びは天候にも左右されるので少ないと思う。」「もう少し外遊びがあるといいなと思います。」と、一層の機会確保を要望する意見もあった。また、「お散歩をどの程度しているのかわからない」等、判断しづらいという旨的回答も散見された。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	61	3	1	31
回答者の94%が「はい」を選択している。この設問では「柔軟に対応していただき、ありがとうございます」「いつも急な予定変更に嫌な顔ひとつせず対応してくれる。先生同士の雰囲気も良く、お手本にさせてもらっている」「朝、夕と忙しい時間帯でも伝達事項も共有してもらえ、変更もたくさんある中、優しく対応してもらえるのは親としても心地よい」という内容の回答などがあった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	56	21	11	8
回答者の64%が「はい」を選択している。この設問では「避難訓練も子供の立場になって声かけてしてくださったり、先生達の真剣さが伝わります。」という回答のほか、設備の修繕や安全に対する注意喚起がされていることを伝える回答などがあった。意見としては、保育中のけがやトラブル等に関する内容のほか、前面道路への飛び出しや設備面、見守りについて心配する回答が見られた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	66	25	5	0
回答者の69%が「はい」を選択している。この設問ではコロナ禍が明けてさまざまなイベントに参加できるようになったことを伝える回答や、土曜日に保育参加や個人面談ができるなどを伝える回答があった。一方で平日の行事開催や連休中の行事日程等、行事実施や連絡のタイミングに関する意見も見られた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	69	19	6	2
回答者の73%が「はい」を選択している。この設問では「母親も気がつかない子供のいいところを沢山見つけて報告してくれる。」「親身になって聞いてくれた。」「何か困った事があるとすぐに相談出来る雰囲気があり助かります。」「保育のプロである先生方にいろいろ相談できるのは本当に助かります。」などの回答があった。一方、送迎時に詳しい様子を聞くことができない、質問に対し満足いく回答が得られない等の理由で「どちらともいえない」「いいえ」の選択もある。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	78	13	5	0
回答者の81%が「はい」を選択している。この設問では設備面に関する内容や、教室や廊下のごみや埃等の清掃状態、トイレの清潔保持、園庭の整理整頓に関する回答が得られている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	78	15	2	1
回答者の82%が「はい」を選択している。この設問では「いつもハキハキとした元気な先生が多く、印象が良い。」という回答のほか、言葉遣いや挨拶、表情、授業指導時の振る舞いに関する意見が見られた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	73	15	2	6
回答者の81%が「はい」を選択している。この設問では「熱があると迅速に連絡が来たり、ちょっとしたケガでもどうしてその傷ができるのかの説明をしてくれるので信頼できる。」という回答のほか、発熱時・発熱後の取り決めやお子さんのがけがをした際の報告に関する意見が見られた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	47	19	2	28
回答者の69%が「はい」を選択している。この設問では子ども同士のトラブルが生じた際に「報告があった」「報告がなかった」という回答のほか、「成長に伴うトラブルへ対処しきれてない事がある」「きちんとした対応がなされているのか不安に感じる」という旨の回答などが見られた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	78	13	3	2
回答者の83%が「はい」を選択している。この設問では「根気よく向き合い子供が気持ちを切り替えられるよう、環境を変えるなどで寄り添ってくれている」旨の回答や、「親よりも子どものことを理解してくれていると感じる事がとても多い」という内容の回答などがあった。一方、「人数が多いのでなかなか難しいことだと思います。」等、園児数の多さを理由とした回答のほか、落ち着かない子どもへの対応などを理由とした「いいえ」の選択も見られた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	74	6	3	13
回答者の83%が「はい」を選択している。この設問ではお迎え時の保護者と職員の会話やおむつ交換時にプライバシーが守られているとは言えないという旨の回答があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	74	17	4	1
回答者の78%が「はい」を選択している。この設問ではお迎え時の説明に関し、「職員による」という内容の回答や、「詳しい説明がない」「忙しそうで尋ねにくいなどの理由で「十分でない」という旨の回答が見られた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	62	16	4	14
回答者の76%が「はい」を選択している。この設問では「基本的には対応してもらっていると思います。」という回答のほか、対応や回答内容に関して「対応されているとは言えない」旨の回答が散見された。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	40	9	13	34
回答者の65%が「はい」を選択している。この設問では「説明はなかった」「あったかどうかわからない」という回答が見られた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1 リーダーシップと意思決定	サブカテゴリー1(1-1) 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー1の講評		
法人の理念や園運営の方針、保育の重要事項などが職員に丁寧に伝えられている 年度末にアゼリーグループ全体でビジョンや年度の方針などについて理事長から周知がされており、年度当初には園内において園長、副園長から当年度の運営方針や推進しているSTEAM教育について、また、不適切保育に関する注意事項などを正職員に周知している。その後パート職員にも同様の内容を伝えている。そのほか、基本理念やビジョン、行動指針、目指す人材像などは理念ブックや職員一人ひとりが所持するカード(クレド)に記載され、法人が開催する職階別研修で理念等を毎回共有している等、職員に向け十分な周知と浸透策が実施されている。		
保育の方向性や方針を職員に提示し、方針に沿った保育が実践できるよう取り組んでいる 毎月開催する職員会議では園運営や保育の方向性を園長、副園長から提示し、その理由も伝えて日常の保育において職員に実践してもらっている。職員会議では、各クラス、看護師、栄養士、園長、副園長からそれぞれ連絡事項を伝えており、方針に関する周知事項についても議事録に記録され、パート職員を含め全職員が目を通している。また、各職員が担当するカリキュラムや研修などの役割や作業分担は、職務分担表にて毎年度明確にして周知がされており、園の保育が方針とずれることなく実践できるよう留意している。		
園運営や保育に関する重要事項等は、パート職員にも丁寧な情報提供がされている 法人の決定事項は年度末に法人の全職員向けに周知され、園運営や保育に関する重要事項は年度初めの職員会議や園内研修等の機会に周知がされている。また、当年度の重点課題と目標については園で作成している事業計画に沿って職員に向けた周知がされている。パート職員向けには2日間実施する4月のパートナー会議のほか、概ね3か月毎の頻度で開催する同会議で周知がされている。そのほか、毎月のクラス会議において周知しており、クラス会議には当日出勤しているパート職員も出席している等、パート職員にも丁寧な情報提供がされている。		

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		
評点(○○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
保護者や職員の意向と認識を把握し、理解を深めて園運営に活かしている 保護者向けのアンケートは行事実施後に年に5回以上実施しており、その中でSDGsに関する保護者の認識なども確認している。また、行事に関する感想を次年度の行事内容の参考にしたり、得られた回答をWEBページに掲載して園の紹介に活用することもしている。職員の意向は本部で実施する毎年のパーソナルアンケートで確認がされており、各職員が自己申告し、理事長が確認したうえで園にもフィードバックされている。園内では、園長は休憩時間などを利用し、普段からパート職員を含む職員全員と話すよう努め、職員と経営層相互の理解を深めている。		
保護者や地域社会のニーズ把握に努め、職員や専門家の意見を踏まえ課題を抽出している 保護者アンケートや見学者へのアンケート、毎月開催される区の私立園長会、法人からの情報などにより保護者や地域のニーズおよび動向を把握している。また、法人の系列保育園と幼稚園で組織し毎月開催される「未来を創る会」からも情報が得られている。法人の取り組みでは顧問のコンサルタントから事業を取り巻く環境などを学んでおり、社会情勢や保育ニーズを知り、その内容や職員の意見なども踏まえて自園でできることや今後取り組みたいことを取り入れ、コンサルタントからのアドバイスも受けて毎年度の事業計画を策定している。		
目標達成に向けた実施事項を明確にして、計画に基づいた進捗管理が実施されている 事業計画は園長とマネージャーが作成しており、令和7年度からは副園長も加わり作成する予定である。事業計画では保育や園運営、環境整備、地域貢献、人材育成の各テーマで現状課題を抽出し、目標を設定して達成のための対策を立てている。計画は子どもと職員の成長と発達を主眼として方針に沿って具体的に策定されており、実施事項を明確にし、職員にも伝えて推進されている。計画の進捗については毎月のコンサルタントとの打ち合わせで報告しアドバイスを得て管理している。加えて年度末に達成度評価を実施して次年度の計画に反映させている。		

カテゴリー3			
3 経営における社会的責任	サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている	評点(○○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	

カテゴリー3の講評	
クレドの読み合わせや研修への参加により、行動指針や虐待防止などを職員が学んでいる	毎日の昼礼では職員の行動指針や目指す人材像、目指す職場(5S)など、クレドに記載された事項をすべて読み上げ、読み合わせをしている。法人の階層別研修では1年目、2年目等、勤務経験に応じた研修が実施されており、社会人としてのマナーや姿勢などのテーマを職員が受講している。また、毎月の園内研修の中では幼児保育、見守り保育などのテーマのほか、虐待・不適切保育に関する研修を実施して職員が学んでいる。虐待研修は年度末の全体研修においてもセルフチェックを併せて実施し、加えて都度の研修実施で浸透が図られている。
苦情解決制度を保護者に丁寧に周知し、要望や相談への対応がされている	苦情解決制度については重要事項説明書への記載や玄関への掲示、WEBページでの周知により丁寧に周知がされており、制度の内容についてはWEBシステムにより保護者からの同意を得ている。要望や苦情は事務所に口頭で伝えられることが多く、苦情については内容、原因、対策まで記録し苦情解決の仕組みに沿って処理されている。また、保護者アンケートで得られた苦情や要望などは個別に対応し園長、副園長も解決にあたっている。内容については「頂いた意見」として保護者全体にも周知して透明性の確保に努めている。
地域子育て支援事業のほかに子ども食堂を開始し、地域福祉に大いに貢献している	0歳児から就学前の児童を対象とした子育て支援事業「アゼリークラブ」を実施し、月3回、育児相談や保育園体験、身体測定、季節の遊びや製作等の様々なプログラムを提供しており、参加者も多く、地域の子育て家庭のリピート利用も増加中である。そのほか、子ども食堂「アゼリーみんなのレストラン」を8月にオープンさせている。地域の子どもや子育て家庭、老人を対象として、孤食の解消や居場所づくり、保護者と子どものコミュニケーションの場づくりを目的とした支援が開始されており、地域福祉や地域子育て支援への貢献度も高まっている。

カテゴリー4			
4	リスクマネジメント		
	サブカテゴリー1(4-1)		
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる			
	評点(○○○○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/>	非該当
	サブカテゴリー2(4-2)		
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている			
	評点(○○○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/>	非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/>	非該当
カテゴリー4の講評			
想定されるリスクへの対応として各種訓練等を計画的に実施している			
	安全点検やマニュアル策定、安全指導、各種訓練などについては安全計画に明記して計画的に安全性の確保と向上に取り組んでいる。避難訓練は毎月の地震・火災に加えて防犯、水害避難、引き渡し訓練などを毎回想定を変え、目的を明確にして実施しており、実施後はクラス毎に反省をして改善・向上を図っている。また、夏のプール遊びを担当する職員は普通救急研修を年1回受講する等、発生しうるリスクを想定した研修が実施されている。BCPは各種災害と感染症について策定されており、ガイドラインを参考にして園として令和5年10月に策定している。		
マニュアルの整備や予防・再発防止策の実践により安全性を高めることに取り組んでいる			
	安全管理マニュアルでは、危機管理、地震、火災、事故、応急処置、不審者対応、置き去り防止などの手順を標準化している。事故対応等はフローチャートを作成し、わかりやすくすることで手順に沿って迅速な対応ができるようにしている。事故報告書やヒヤリハットについては担当者が記録しており、沢山のヒヤリハットが提出され、それを園内で毎日共有している。また、看護師が集計して周知後、原因と対策を職員会議で検討してその内容を職員間で共有し、予防と再発防止に努めている。		
ICT化、DX化、業務効率化を法人として推進し、ICTの活用度を高めている			
	個人情報保護については規程に定め、重要事項説明書に記載し、利用目的等について周知をしている。また非常勤職員を含む職員からは守秘義務に関する誓約書を得て情報の保護を徹底している。情報セキュリティについては法人で管理している。ICT化、DX化を法人として推進しており、PCIは職員個々に配布し使用する環境がある。法人のDXプロジェクトではICT化やITスキルの向上を推進しており、ITが苦手な人も活用できるよう取り組んでいる。また、ヒヤリハットの活用度を高めるための取り組みなどもあり、ICTの活用度を高めている。		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	3／3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評	
	<p>パート職員の戦力化や意欲的に働ける環境づくりをして、定着が図られている</p> <p>事業所が求める人材像については「素直・プラス発想・勉強好き」としてクレドに明示されており、毎日の読み合わせにより浸透が図られている。採用について、園ではパート職員を「パートナー職員」として、会議への参加や意見具申、記録などもしてもらう等、戦力化しており、長く勤務するパート職員も多い。</p> <p>また、チャレンジしやすい環境を整備し、本人の意向も踏まえて個々のチャレンジを奨励している。DXやSTEAM保育などのプロジェクトに参加する職員もあり、「やりたいことにチャレンジできる」という職員の意見もある。</p>
	<p>法人・園内の研修体系を整備し、外部の研修も積極的に活用して人材を育成している</p> <p>人事考課面談は年2回実施している。自己評価にはICTを用い、身だしなみや挨拶、言葉遣い、リスクマネジメントや報連相など組織人として必要なスキルを自己評価し、法人本部と園で評価の上、面談で本人にフィードバックして職員個々の向上が図られている。研修はキャリアアップ研修に積極的に参加させているほか、勤務年数と職階で分けた法人の階層別研修体系があり、人材育成やリーダーシップ、ロジカルシンキング等、経験や役職に応じて職員が学んでいる。また、園で推進しているSTEAM保育等の保育実施面は園内研修で職員全員が学んでいる。</p>
	<p>良好な職場環境づくりに努め、職員からも一定の支持が得られている</p> <p>勤務実態を踏まえて処遇手当や時給のアップを行うほか、必要に応じ個別面談を実施して年度途中であっても勤務時間を見直すなど働きやすさに配慮している。メンタルケアはストレスチェックの制度の中で実施されている。組織・チームワークについては、クラス内だけでなく、クラスを超えた話し合いの場を設け、客観的に意見を得られる場を作っている。また、園長は職員個々とのコミュニケーションを多くとり、良好な職場環境づくりに努めており、今回の職員自己評価においても職場の人間関係に関する職員の評価は非常に高い。</p>

カテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
	サブカテゴリー1(7-1) 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている
	評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1) 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 教育・保育活動の課題として、異年齢保育の実施が不定期であったこと、夕方カリキュラムの実施にクラス毎に差があったこと、が挙げられ、また、自立支援の面ではおむつ替えの環境が整っていないことが挙げられており、2023年度の目標として ・異年齢保育を月2回実施する。 ・夕方カリキュラムの充実を図る。 ・乳児用トイレの環境整備。 を掲げ、 ・異年齢保育の計画を立て、グループ分けをする。 ・幼児クラスで連携しながら実施していく。 ・衝立やおむつ替えペットスペースの確保等、安全に利用できるよう乳児クラスで意見を出し合って環境整備する。 を解決策として計画し、実行した。 取り組みの結果としては部分的な達成となり、今年度も継続して目標に掲げている。
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
上記課題は同園の事業計画において、教育・保育活動分野の課題として記載されており、年度末の達成度評価を経て次年度の事業計画につなげられている。個々の目標について1年間の活動成果を振り返り、現状と課題を把握して次期の目標が設定されており、事業計画のPDCAが回っている。目標自体は継続的であるが、解決策と取り組み内容については現状・進捗状況を踏まえて設定され、改善に向けた発展的な取り組みとなっている。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

推進しているSTEAM保育について、クラス毎に実施する頻度の差があったことから、「STEAM保育の充実を図る」を目標とし、
・日々の保育に取り込みながら、写真や動画で記録していく。
・全正規職員がSTEAM保育研究会に参加して学びを深める。
ことを目標達成のための対策として計画し取り組んだ。
結果として、STEAM保育を取り入れた内容の動画や写真を撮りSNSで公表して保護者にも伝えることで、職員もSTEAMについて理解を深め、STEAMを意識して保育をするようになった。
今年度は、実施する保育においてどこがSTEAMに繋がっているのかを把握しながら動画撮影をしたり、行事の活動にもSTEAMの要素を取り入れ、高齢者の方との関わりも持ち、取り組みの内容を深めている。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

STEAM保育の充実についても継続的な目標として掲げられており、職員が研修や実践によってSTEAM保育についての学びを深めている。SNSの投稿については情報公開、運営面の課題として取り組んでいるが、園で取り組むSTEAM保育・教育特化型保育・自立支援型保育の推進という意味合いも持ち、具体的な実施事項を伴う計画が作成され実行されている。これらの取り組みにより、園が目指す保育の理解と浸透及び実践が着実に進展している。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(○○○○)		
評価 標準項目		
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー1の講評		
WEBページやブログ、SNSにより、園の特徴や取り組みを積極的に発信している アゼリー保育園のWEBページには、園長からのメッセージや保育のコンセプト、保育を通して育てたい5つの力等を掲載し、園で推進しているSTEAM保育のことや自立支援型保育園(0歳児から2歳児)、教育特化型保育園(3歳児から5歳児)のことが詳しく記載されている。また、感覚処理の問題に対応するセンサー・インクルーシブ認証を受けていることや、設置しているスヌーズレンルームの紹介等、動画も交えて園の特徴と取り組みが詳しく案内されている。日常の保育についてはブログやSNSで発信されており、充実した内容となっている。		
WEBやサイネージを活用し園を利用する保護者の声や保育の様子が公開されている WEBページには行事後に実施する保護者アンケートの集計結果や、STEAM保育に関する保護者向け講演会後の保護者アンケート結果、園で運営している子ども食堂「アゼリーみんなのレストラン」実施後のアンケート結果などを公表している。また、玄関ホールには大きなモニター(デジタルサイネージ)を設置し、楽しそうに遊ぶ子どもたちの映像等を流しており、園の取り組みを積極的に外部に伝えている。デジタルサイネージは来訪者や保護者に日常の様子や他クラスの様子、他施設との関わりを知ってもらう良いきっかけになっているものと推察された。		
案内時の工夫をして多数の見学者に保育の特徴などを伝えている 区には入園案内を渡し、毎月定員と募集数の情報などを伝えており、それらの情報は江戸川区のWEBサイトで公表されている。見学案内は火曜、水曜、金曜日に実施しており、個別に対応し予約制で案内している。予約が多い時期は2か所に分けて実施するなど案内時の工夫がされている。案内時は体操着の購入などの費用面のほか、保育についてはSTEAM保育、自立支援型保育、教育特化型保育については詳しく伝え、例えば教育面では算数・国語・社会・運動表現、理科・英語の概要、カリキュラムなど園の取り組みやその特徴について保護者に伝えている。		

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
個人面談 で子どもと家庭の状況を把握し、受け入れの準備がされている 保護者からは事前に子どもと家庭状況等に関する書類を提出してもらって延長保育の有無や離乳食、子どもの癖や気になること、遊びや寝るときの癖などを確認し、その内容に基づき入園説明会時に個人面談をしている。アレルギーについては必要に応じて栄養士、看護師が再度面談し適切な対応ができるよう留意している。重要事項についてはわかりやすい説明書を準備して事前に配布し、説明内容について同意を得ており、QRコードを保護者が読み取りWEBによる同意確認がされている。また写真の使用、SNSへの掲載については毎年4月に同意を得ている。 職員配置 や個々に合った保育の設定に配慮し、無理なく生活を開始できるようにしている 入園当初は子どもの人数に対して十分な援助ができるよう職員を配置することや、子ども個々に合わせてスキンシップを行うなどの対応により極力落ち着いた環境となるよう留意している。また、無理なく生活に慣れることができるよう、1～2週間の時間をかけて慣らし保育を実施している。慣らし保育は幼児はすぐに慣れることが多いため期間を短くするときもあるが、乳児はなるべく1週間～の計画を尊重して実施している。初日は1時間、2日目は午前中、3日目は昼食を食べる等、保育時間を徐々に長くして、子どもの精神的負担を減じている。 隣接する施設 で法人の学童クラブが運営されており、継続した支援ができる環境がある 就学前には小学校へ保育要録を届け、個別に配慮が必要な子どもの引き継ぎ等をおこなっている。就学に関する相談は日常的に受け付けて対応しているほか、年長児は就学に向けて懇談会を開催して保護者に心配事があれば相談対応をしており、子どもと保護者の不安を解消できるよう配慮している。なお、園舎に隣接する建物には、法人が運営する江戸川区公認の学童クラブ「アゼリーアカデミア新小岩」があり、在籍する卒園児も多い。年長児は学童との交流もあり、学童クラブの利用により支援の継続性を保つこともできる。		

サブカテゴリー3		
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	13／13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		
評点(○○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
子ども個々の記録を各クラスで確認し、話し合いの上で各計画が作成されている 子ども個々の発達状況については児童票に記録され、年齢毎に運動、発達、人間関係など、領域毎の具体的な活動目標の達成状況と子どもの姿を記録している。児童票の記録にはシステムを利用し、年齢児ごとに定期的に記録されている。また、内容については各クラスで確認し、月案等の計画に反映される。子ども個別の計画は0, 1, 2歳児と配慮が必要な子どもについて作成されており、毎月の会議で議題に挙げて関わりや次月の目標などを話し合い、担当者がパート職員からも意見を得たうえで作成している。		
全体的な計画に基づき各計画を作成しており、適切な計画となるよう見直しがされている 保育の全体的な計画については年度末の研修において職員間で内容を共有しており、全体的な計画を踏まえて各クラスで年間の保育指導計画、月案を作成している。月案、週案については各クラスで各期末に振り返り、内容について園長、副園長が確認し、気になることがあれば担任に確認してアドバイスがされ、次期の計画が作成されている。計画の保護者への周知については年2回の保護者懇談会において、クラス毎に目標や保育実施面について等、全体的な内容について伝えている。個人的な内容については個人面談で保護者に伝えている。		
ICTを活用し、子どもの記録や連絡事項を園全体で共有することが出来る環境がある 個々の子どもの状況は児童票のほか、保育日誌には子どもの姿とその姿を踏まえた反省および次回への配慮事項を記録しており、これらの記録により乳児・幼児の全般的な姿を把握できるようにしている。子ども個別の様子は3歳未満児は連絡帳アプリに記録されており、特記事項は観察チェック簿に記録され情報共有がされている。児童票、保育日誌など記録類はすべてシステムで管理されており、正職員は各自のパソコンからいつでも確認できる。パート職員も共有パソコンで閲覧できるなど、ICT化の推進により情報の共有がしやすい環境がつくられている。		

サブカテゴリー5															
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5												
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当													
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当													
サブカテゴリー5の講評															
<p>インターネットでの情報公開時など、子どものプライバシー保護に配慮している ウェブサイトやブログ、SNS等での写真の公開など、子どもの肖像については保護者の意向を個別に確認し同意を得た上で利用しており、特にインターネット上の公開については厳密に対応している。保育の現場では水遊び時にはラッシュガードを着用することや水着姿が外から見えないようにタオルを巻いて移動する、着替え時は男女に分かれる、窓際に間仕切りを設置し外からの視線を遮る、などの配慮をしている。例えば1歳児の着替えではラップタオルを活用、トイレも都度必要に応じて仕切りが活用されているなど、細かな配慮がされている。</p> <p>子ども個々の価値観を認め、子どもの意見や気持ちを尊重して保育にあたっている 推進しているSTEAM保育においては、子ども一人ひとりの価値観を認める事を念頭に置き、子どもの意見を聞くことを大切にしている。グループワークの中では子ども個々が必ず発表することにしているが無理強いはせず、活動中に他の子どもがその子の気持ちを読み取ってくれる場面などもあり、子ども同士の関わりの中で生じる配慮や思いやりを尊重している。また、0歳児から2歳児の自立支援型保育の中では、子どもを介助する際、一方的に行うのではなく、子どもの気持ちを汲み取ったり、なぜそうするのかを伝えながら介助することを心がけている。</p> <p>受講した研修をアウトプットすることより、虐待や人権尊重に関する理解を深めている 虐待防止については、園内研修の実施や外部研修の受講により職員の理解を深めている。内部での研修時にはチェックリストを用いたセルフチェックを実施するほか、外部研修の受講後は園内研修で発表し、研修受講後は72時間以内にレポートを提出する等で研修のアウトプットを行い、虐待防止や子どもを尊重することの大切さを園内で共有している。</p>															

サブカテゴリー6		
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
(●)あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
(●)あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
(●)あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
(●)あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
(●)あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評		
安全確保に関するマニュアル類が整備されており、現場や研修などで活用されている マニュアルはアレルギーや虐待対応、事故対応、感染症予防、保育業務などが作成されており、職員がいつでも確認できるよう保管されている。また、心肺蘇生や与薬、窒息、痙攣などの対応についてはマニュアルのほかにフローチャートを用意して対応できるようにしている。マニュアルは現場で活用されており、嘔吐処理などは職員皆が出来る状態にある。また、各マニュアルは関連するテーマで実施される園内研修の際に確認したり、プール遊びの手順を職員会議で確認する際などに活用されている。		
職員の意見を聞き、話し合って業務や保育環境の改善をしている マニュアルは実態と合っていない時や行政通知などがあったときなどに適宜の見直しをおこなっている。また、年度末には園内業務や保育実施面についての点検と見直しをしており、感染症マニュアルについては産業医の意見を聞いて見直している等、最新の情報を踏まえた業務・手順の見直しが行われている。業務の改善や手順の検討をする際は、会議や屋礼などの時間に職員からの意見を募り、それに応じて職員が意見具申を行い、正規職員と非常勤職員で壁なく意見を交わし合い、建設的な話し合いがされている。		

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4 標準項目実施状況	36／36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)	
評価 標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども個々の様子を観察して発達を捉え、一人ひとりに合わせた保育を実践している</p> <p>園として推進しているSTEAM保育では、様々な物事に興味を持ち、自ら考え行動する力が育まれている。子どもの発達について保護者と細やかに連絡しあい、保育の現場では子ども達の様子を観察し、個々の発達を踏まえて見守り、援助している。特に0歳児は愛情を注ぎ、スキンシップをとり落ち着いて過ごせるように配慮している。また、家庭環境などの背景も考慮して愛着形成ができるよう援助している。今回の保護者アンケートにおいても「職員が一人ひとりをよく見て、子どもの発達に合わせ保育をしてくれている」旨のコメントも得られている。</p> <p>インクルーシブ保育を推進し、穏やかに過ごし、共に成長できる環境がつくられている</p> <p>特別な配慮が必要な子どもの保育は療育機関と連携をして進めており、通常は集団の中で過ごし、支援が必要な時は個別の援助をしている。園はセンサー・インクルーシブ認証を得ており、感覚特性がある子どもが快適に過ごせる環境作りがされている。その一環で設置しているスヌーズレンルームは、子どもの気持ちが不安定になった時に利用する癒しのスペースとなっている。</p> <p>異年齢保育では、早朝、延長保育の時間帯のほか、日中の活動中も一緒にリトミックやゲームをする等の交流があり、夏まつりでは異年齢児が一緒に製作などをおこなっている。</p> <p>教育特化型保育園として学習に力を入れ、また、小学校との連携を深めている</p> <p>前年度は小学校の校長先生に学校内やプールを見学させてもらい、子ども達は校庭で遊ぶ経験をしており、今年度は近隣小学校3校と連携をとり、交流できるよう計画を立てている。子ども達はそれぞれ入学先が異なるため、3校との連携をして対応範囲を広げている。また、園内では就学に向けて日常の生活の中でルールを守ることなどを伝えている。</p> <p>教育特化型保育園としてひらがな(国語)や数字(算数)は4歳児から学び始めており、標識(社会)などはカード遊びの一環で取り入れているなど、就学や小学校入学後の学習に結びつく活動が実施されている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	
評点(○○○○)	
評価	標準項目
(●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
(●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
(●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
(●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている
評価項目2の講評	
<p>登園時は保護者との情報共有や連絡事項の伝達を確実に行うよう努めている 登園時は連絡帳アプリと視聴、保護者との会話により、子どものその日の体調の確認をしている。また、受け入れ担当者とその他の子どもを見る保育者を配置し、個々の家庭への対応が円滑に出来るよう留意している。降園時にも同様の配置をして、引き継ぎを確実に行い、子どもの様子を丁寧に保護者に伝えることを心掛けている。降園時はその日の子どもの様子を保護者に一言添えて伝えるようにしているが、園児数の多さから伝えきれないこともある。そのため、子どもを保護者へ受け渡す前に異年齢間の引継ぎをする等、情報共有のための工夫をしている。</p> <p>自立支援保育を実践し、子どもが意欲的に生活習慣を身に付けられるよう支援している 0.1歳児は「自立支援型保育」を実施し、一人ひとりの子どもが身の回りのことを自分で行えるよう支援をしている。子ども達が出来たことを一つひとつ認めそれを言葉で伝えており、褒められることで自信につなげ、段階を踏みながら様々なことができるようしている。 トイレトレーニングは、マニュアルを作成し若手職員でも実践できる状況にある。1歳児からは時間を決めてトイレに行っており、トイレ内もカラフルな設備や装飾をするなど、子どもがワクワクするような環境づくりをすることで、自ら進んでトイレにいけるよう工夫をしている。</p> <p>保護者と連絡を密にとり、子ども個々の状況に合わせて食事や休息の支援をしている 離乳食は家庭で食べた事のない食材は提供しないようにしている。食材については入園時に確認し、その後は連絡アプリで情報交換をして連絡を取り合い、家庭との連携を大切にして子どもの状況を共有し、相談をしながら子ども個々の発達に応じた離乳食の提供をしている。 休息の支援では、睡眠時は明るさの調節や音楽を流すなどでゆっくりと体を休められるようになっている。特に0歳児は、保護者との日頃の会話で自宅での睡眠時間を把握して個々の睡眠時間を調整しており、場合により午前寝を取り入れるなど、生活のリズムが安定す</p>	
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している	評点(○○○○○○)
評価	標準項目
(●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている
(●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している
(●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している
(●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている
(●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている
(●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがより大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している
評価項目3の講評	
<p>STEAM保育を取り入れ、子どもが自ら考え行動する力が育まれている 幼児は塗り絵をすることも多く、色鉛筆は子ども達が好きな色を多く揃える等、材料を十分提供することで集中して遊べる環境にしている。STEAM保育では、子どもの五感を刺激する感触遊びを積極的に取り入れており、子ども達は楽しく、集中して表現活動に取り組んでいる。援助面では様々な事象について子ども自らが考える力を養うことを大切に考えており、子どもが疑問に思うことをWEBで検索して調べ、それを製作に繋げる活動等が実施されている。製作物はデジタルサイネージにより展示されており、楽しい活動の様子は保護者にも伝えられている。</p> <p>絵本や感触遊び、音楽などの活動を通して、子ども達は自由な表現を楽しむことができる 毎月絵本を購入し、どの年齢でも読み聞かせをおこなっており、視察時も子どもが集中して絵本を見る姿が見られた。また、夕方の時間の紙芝居や給食の時間のAIを活用した紙芝居、行事の導入としての紙芝居の活用など、保育の中で絵本や紙芝居に親しみ、言葉に対する感覚を養えるよう援助している。活動では様々な素材を用意した製作活動や感触遊びのほかに音楽や楽器なども取り入れており、それらの活動を通して子どもたちが自由に表現することを十分に楽しめるよう支援している。</p> <p>集団活動や水遊び、植物の観察、季節を感じられる多様な活動が実施されている 訪問時の0歳児クラスでは、遊びスペースにジャングルジムとマットが置かれ、子どもたちがのびのびと体を動かすことを楽しんでいた。また、2歳児クラス以降は上履きで過ごし、広々としたスペースでリトミックや椅子取りゲームなど集団での活動が行われている。夏は玄関前に設置したプールで水遊びを楽しんだり、食育も兼ねて園庭で育てている枝豆を観察して絵を描いたりと、その季節ならではの保育活動を実施している。近所の公園等には頻繁に散歩に出かけており、季節を感じられる活動を戸外遊びに取り入れている。</p>	

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目4の講評														
<p>子どもの意見や好奇心を尊重して行事を企画・実施している</p> <p>運動会や生活発表会等の行事は、子ども達の意見を取り入れ、子どもの好奇心や声を拾いながら進めている。生活発表会では子ども達が踊ってみたいダンスを取り入れ、衣装も子どもたちの意見を取り入れている。演奏する楽器や役決めについても子ども達から希望を伝えてもらい決定している。行事の取り組みに関してもSTEAM保育の考え方を取り入れており、例えば、運動会のリレーでどうしたら勝てるようになるかについて実際に検証してみると、子どもが考える力を養えるよう保育者が工夫して取り組んでいる。</p> <p>高齢者施設と合同で行事を催す等、行事は様々な人たちと交流する機会にもなっている</p> <p>法人グループ内の高齢者施設や保育園と合同で行う行事もある。夏祭りでは高齢者施設の利用者と一緒にかき氷のシロップ作りをしているほか、子ども達が高齢者施設を訪問してジャガイモ堀りをしたり、リモートでお話をしたり、一緒に英語の活動に参加している。また、グループ内の保育園では年長児同士でドッヂボール大会を開催している。そのほか、行事に向けた製作を異年齢で行い、年上の子どもが年下の子どもに丁寧に教えたり、年下の子どもが分からぬ事を年上の子どもに聞いたりと、行事がさまざまな人たちと交流する機会にもなっている。</p> <p>ICTも活用して行事の目的などを保護者に伝え、理解を深めてもらっている</p> <p>保護者には園だよりやデジタルサイネージを用いて行事の様子や子ども達の姿を伝えており、紙媒体のほかICTを活用している。また、行事の目的は「頑張る力を培うこと」であることや、STEAM保育の目的などを保護者に周知することで、行事について保護者に理解を深めもらっている。</p>														
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目5の講評														
<p>スキンシップをとるなど、子どもの気持ちを汲んでゆったりと過ごせるようにしている</p> <p>延長保育時には、安心して過ごせるよう玩具の配置などの環境を整えており、子どもたちは好きな遊び自分で選び、家庭的な雰囲気の中ゆったりと過ごすことが出来ている。子どもは疲れてくるとわがままを言ったり、甘えが出たりすることもあるため、その気持ちに応じられるよう保育をしており、長時間保育で淋しくなってしまう子どもにはスキンシップをとり、落ち着いて過ごせるようにしている。</p> <p>延長保育時は安全に配慮しつつ遊びの内容を工夫している</p> <p>延長保育時は子どもの人数に応じて、保育者1名で対応する子どもの数も変わり、遅い時間になると1対1での対応もされている。延長時は折り紙製作をしたり、保育者が中心となり遊ぶこともある。毎日同じ活動にならないよう延長保育時に提供する遊びの内容にも工夫をして、安全に配慮しつつ、ゆったりと過ごせるように環境を整えている。</p> <p>発達支援の知識も活用し、子どもが落ち着いて過ごせる環境づくりをしている</p> <p>乳児クラスにはマットを敷いているので、寝そべたりとリラックスして過ごすことができ、室内は全体に落ち着いて過ごせる環境になっている。子どもは個々に好きな場所があるのであるとのことであり、それにあわせて過ごしやすい場所をつくってあげることもしている。発達支援コーディネーターの資格をもつ職員もあり、その知識を、例えば、支援時の声の大きさや、絵カードを用いたコミュニケーション、子どものペースに寄り添いスマールステップできることを増やしていく等、子ども個々に対する個別の支援に活かしている。</p>														

6評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(○○○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目6の講評																				
<p>発達に応じた食事の環境づくりをして、ゆったりと落ち着いた雰囲気で食事を摂っている</p> <p>0歳児は保育者と1対1~2で食事を摂っており、保育者は一人ひとりに話しかけ、また、必要な援助をして、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で食事が進められている。3~5歳児は、一人ずつ順番に食事を取りに行き、食事の量を自分で選ぶことができ、保育者も無理はさせないように留意している。「いただきます」は皆が揃ってからおこなっており、食事が始まるまで待つことも大切にしている。主菜、副菜を食べる順番は自由であり、個々に好きなものから食べている。なお、外国籍の子どもも多いことから、「いただきます」の掛け声は英語である。</p> <p>郷土料理や各国料理、リクエストメニューなど、バラエティー豊かな食事を提供している</p> <p>毎月の食事やおやつの献立には、郷土料理や各国料理などを取り入れており、和洋取り混ぜ、国際色豊かな献立となっている。また、毎月の「お誕生日献立」は誕生月の子からのリクエストに応じてメニューを決定している等、子どもたちに食事の楽しみを提供している。アレルギー対応は誤食や事故がないよう徹底している。他の子ども達とテーブルを別にしている場合は、寂しくないよう保護者が付き、また、問題がなさそうな食材の場合は保護者に確認の上、他児と同じ机で食べる等、子どもの気持ちにも配慮してきめ細やかに対応している。</p> <p>子どもが好奇心を持って楽しく取り組み、成長のきっかけとなる食育活動を実施している</p> <p>食育は年齢毎に目的や目標を決め、マナーや栄養素、調理など、年間の食育計画を細やかに立てて実施している。5歳児の計画では実った野菜を用いたオリジナルメニューの開発、野菜を使った絵の具づくりなども計画されている。また、高齢者施設で高齢者と一緒に野菜を収穫しており、この体験は子どもが成長するきっかけにもなっている。園庭では枝豆やミニトマトなどを栽培しており、種を植えて成長を観察し、収穫するまでの活動を通して食への関心を高めている。また、収穫した野菜を昼食やおやつに提供して好き嫌いをなくすことも取り組んでいる。</p>																				
7評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○○)																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目7の講評																				
<p>子どもが自分自身の安全確保について意識して行動できるよう援助している</p> <p>手洗い指導や歯科指導は看護師が担当して実施している。また、介助時の衛生管理が徹底されている。戸外での事故予防では公園のハザードマップを作成し、危険箇所を職員間で共有している。戸外遊びでは人数確認を行い、事前にルールを伝えてから遊び始めるようになっている。交通安全教室は年に一回、4~5歳児対象で実施されている。災害時の行動については、避難訓練の実施後に地震や火災に関する紙芝居を読んだり、車内に取り残された場合の対応、脱出方法等を伝え、子どもが自分の身を守ることを意識して行動できるよう支援している。</p> <p>研修や訓練などを実施し、安全確保や健康維持のための対応力を高めている</p> <p>食物アレルギー対応や投薬(軟膏)対応などは医師の了解の元で実施している。エピペンを使用する必要がある場合は看護師が対応することになっている。対象児は現在在籍していないが、練習用のエピペンを使用して職員向けの研修をする予定もあり、また、在席している場合は必ず研修をして仮に看護師が不在でも職員が対応できるようにしている。園内研修では正規職員と非常勤職員を対象として、保健衛生や安全対策、感染症や医療的ケア児の保育をテーマに取り上げており、また、救急救命訓練を毎年継続実施するなどで職員個々の対応力を高めている。</p> <p>保護者には子どもの健康維持に関する情報を提供し理解を深めてもらっている</p> <p>SIDS予防では午睡時のチェックと、うつ伏せ寝の防止(仰向けにする)をおこなっている。午睡チェックの記録には、横向きの場合は矢印で睡眠時の向きを示し、向きを直した時には○を付けて、睡眠時の子どもの状況と対応を詳しく記録して事故を予防している。</p> <p>看護師が作成した保健計画は保護者に周知されている。また、保健だよりには暑さ対策や夏の体調管理等、その季節に応じたトピックや感染症の情報などを記載して保護者に周知しており、保護者との間で保健・衛生に関する情報共有をしている。</p>																				

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(○○○○○)																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目8の講評																				
<p>保護者個々の事情に配慮した保護者支援を実施している</p> <p>急な延長保育の依頼を受け付けたり、就労以外にも保護者個々の事情により保育時間を考慮するなど、柔軟な対応をしている。保護者面談は年2回、リモートで全家庭を対象に実施し、記録して職員間で共有している。また、送迎時はクラス担任以外の職員も保護者に声を掛けるなどしており、プライバシーに注意が必要であるが発達の様子なども送迎時に個別に話している。会話の中で子育ての悩みがあればプライバシーを確保できる場所で相談対応を行い、相談先を伝えたり、支援をおこない、必要があれば心のケアをする等の保護者支援を実施している。</p> <p>保護者同士の交流機会を設け、また、職員と保護者の信頼関係構築を心がけている</p> <p>送迎時に保護者とコミュニケーションをとり、保育参加や個別の相談を随時受けている。また、保護者アンケートの結果を保護者に知らせ、要望や意見には確實に返答することや、送迎時の些細な会話を積み重ねることで信頼関係を構築することを心がけている。保育参加は年1回実施しており、3~5歳児は通常保育を見てもらい、0~2歳児は生活発表会を見もらっている。また、近隣の文化センター広場で開催する運動会では親子で楽しめるレクリエーションを実施しており、その中で自己紹介の場面をつくるなど、保護者同士が交流できる機会を設けている。</p> <p>保護者がSTEAM保育の理解を深められるよう、体験する機会を設けている</p> <p>懇談会は年2回、土曜日にリモートで開催し、1回目の懇談会では保育の方針などを保護者に伝えている。年長児の懇談会では小学校への就学に向けた話を保護者に伝えることもしている。保護者の養育力向上のための取り組みとしては、STEAM保育の第一人者の講演を保護者向けに企画・開催しているほか、保育参加の時は子どもが行う実験に保護者が参加して一緒に体験してもらっているなど、STEAM保育の理解を深める機会を持ち、その良さを保護者に伝えている。</p>																				
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(○○)																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</td> <td style="padding: 5px;">2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</td> <td style="padding: 5px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当																		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目9の講評																				
<p>日常的に地域の人たちとの交流があり、子ども達が沢山の人たちと触れ合っている</p> <p>近所に散歩に出かけた時には、公園で掃除をしている人に挨拶をしたり、声をかけてもらっている。また、近隣の折り紙が好きな高齢者から折り紙をもらったりしており、日常の中で地域の人たちとの交流がある。今回の訪問調査では、視察中に子ども達から自然に元気な挨拶があり、地域や併設施設との交流の中で日頃からたくさんの人と触れ合う機会があることで、自然に元気な挨拶ができているのだろうと推察された。</p> <p>高齢者施設や障害者施設との交流があり、様々な人たちと触れ合うことが出来ている</p> <p>隣接している放課後学童クラブとの間では、月に1度、折り紙と一緒に折るなどの交流を持っている。また、法人が運営する特別養護老人ホームには、子ども達が頻繁に訪問している。0、1歳児は2組程度に分けて散歩がてら遊びに行き、4、5歳児はひと月に何度も訪問し、リハビリ中の高齢者を応援したり、夏祭りではかき氷のシロップづくりを一緒におこなったり、一緒に遊んでいる。園に隣接している障がい者向けのデイサービス事業との間でも同様の交流がある。これらの交流は子どもたちにとっても貴重な体験となっている。</p>																				

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	教育特化型保育、自立支援型保育の実践を通して、子どもの成長と発達を支援している	
内容①	3歳児から5歳児は「教育特化型保育」として、多方のカリキュラムや運動遊び、音楽遊び、英語遊びなど多彩な活動を実施しており、4歳児からは、ひらがな(国語)や数字(算数)、標識(社会)なども活動に取り入れている。また、0歳児から2歳児は「自立支援型保育」として、トイレトレーニングや衣服の着脱等、身の周りのことを通して、「自分ならやればできる」という自己効力感が育まれるよう保育を実践している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	様々な人たちとの交流機会を豊富に持ち、他者を労わる気持ちを育んでいる	
内容②	高齢者・障害者との交流機会を豊富に持ち、行事に一緒に参加したり、行事に向けた準備も一緒にを行う等の関わりを通して、社会の中でたくさんの人に囲まれ、見守られながら生きているということを感じてもらいながら、高齢者を労わる気持ちを持てるようにしている。多様な交流機会を持つことが、子ども達の貴重な経験になっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル③	地域の子どもや子育て家庭に向けた支援を推進し、地域社会に貢献している	
内容③	地域に貢献する取り組みとして、子育て支援事業「あゼリーくらぶ」を運営して、未就園児の母親に向け、育児相談や栄養相談、友達作りの場を提供をしている。また、8月にオープンした子ども食堂「アゼリーみんなのレストラン」は、地域の子どもや子育て家庭の居場所づくり、保護者と子どものコミュニケーションの場づくりを目的とした事業であり、育児に疲弊している保護者を支援し、一緒に子どもの成長を見守り、配慮が必要な子どもの支援を推進している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	STEAM保育の手法を取り入れ、子どもが自ら考え行動し、遊びながら学べる教育・保育の環境がつくれられている
	内容	乳児クラスでは感触遊びを多く取り入れてSTEAM保育の土台作りがされ、幼児クラスでは子どもの好奇心や興味、「やってみたい」という思いや子どもの声を聴き、子どもが自分で考えて主体的に学ぶ環境づくりがされている。例えば戸外遊びでは、図鑑に載っている虫を探したり、発見したてんとう虫への興味からてんとう虫の食べ物を子どもたちがパソコンで調べたりしている。また、「リレー競技で勝つためにどうしたらよいか」等、子ども達が抱く関心事について子ども自身が考えることで、楽しく学ぶ力や思考する力、行動する力を育んでいる。
2	タイトル	子どもがゆったりとリラックスして過ごせる空間を用意して、一人ひとりの興味やペースに合わせた支援が実施されている
	内容	感覚処理の問題に対応するセンサー・インクルーシブ認証を受けており、園内には子どもがリラックスして一人だけの特別な時間を過ごせる空間(スヌーズレンルーム)を設置している。スヌーズレンルームには、様々な光や音、ふわふわのソファーが用意され、ハンディキャップがある子を中心に気持ちが不安定になった時などに活用されている。子どもが自らスヌーズレンルームに行きたいと申し出ることもあり、その時は子どもが落ち着くまで一緒に過ごしている。スヌーズレンルームにはいつでも行くことができ、子どもが安心できる場所となっている。
3	タイトル	ICTを活用したペーパレス化、業務効率化を組織一丸となって推進している
	内容	ICTの活用によるペーパレス化やDXの推進による業務改善を継続し、ペーパレス化に伴いさまざまな面で業務効率化が進んでおり、重要事項についての同意を保護者から得ることなどにもICTが活用されている。法人のDXプロジェクトではICT化やITスキルの向上を推進しており、ITが苦手な人も活用できるよう取り組んでいる。また、ヒヤリハットの分析にも利用していく予定があるなど、その活用度を高めている。ペーパレス化やDX化については職員から一定の評価もされており、保育園としての先駆的な取り組みが円滑に推進されている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職場内での連携を一層強化し、子どもの支援について、さらにその質を高めていくことを期待したい
	内容	虐待防止や不適切保育については、全体研修の中で研修を実施している。また、職員各自がセルフチェックを実施し、各自が自らの保育を振り返る機会を持っている。そのほか、関連する外部研修の受講後は園内研修で発表し職員への伝達がされて職場内での共有が図られている。今後は研修以外にも職場内で声を掛け合う、職場全体で自分事と考えて改善策を話し合うなどの取り組みを強化していくことで、園の保育を一層高めていくことにつなげていただきたい。
2	タイトル	発生しうるリスクを想定して安全対策を講じており、その取り組みを強化することで今後一層の向上を期待したい
	内容	安全確保に関する取り組みとしては、毎回想定を変えた避難訓練の実施や、公園での訓練実施、夏のプール遊び開始前の普通救急研修の受講等、発生しうるリスクを想定した訓練・研修が実施されている。また、事故予防では職員から沢山のヒヤリハットが提出され、園内で毎日共有し、集計して原因と対策を話し合い再発防止に努めている。今後は事故や災害発生時に職員が統一した基準のもとで確実に対応できる水準まで取り組みを高めるとともに、事故予防では日常的なリスクの発見や点検等も強化し、より一層安全な環境にしていくことを期待したい。
3	タイトル	送迎時の保護者とのコミュニケーションなどについて、さらなる向上に取り組んで頂きたい
	内容	デジタルサイネージを活用し、日々の多彩な活動の様子が保護者にわかりやすく発信されている。日々の子ども個々の様子を保護者に伝えることについては、口頭と連絡アプリによりおこなっているが、園児数の多さから伝えきれないこともありますため、情報共有の工夫もしてその徹底に取り組んでおり、今回の利用者調査では子ども個々に関する報告や相談対応に関して保護者からの多数の賛辞もある。一方、大規模な保育園でありやむを得ない面もあるが、満足していない回答もある。向上余地もあるように見受けられたため、より一層の取り組みも期待したい。

